

第24回全国レディースサッカー大会 実施要項

1. 主 旨 (公財)日本サッカー協会は、30歳以上の女性を主な対象に普及を主目的として本大会を開催する。本大会は、女性のサッカーの普及促進のため開催するものであり、大会に参加する女性がサッカーを通じて友好と親睦を深め、さらには、生涯スポーツとしてのレディースサッカーの浸透・発展に寄与することを目的とする。
2. 名 称 第24回全国レディースサッカー大会
3. 主 催 (公財)日本サッカー協会
4. 主 管 (一財)静岡県サッカー協会
5. 後 援 読売新聞社
6. 協 賛 株式会社ミカサ
7. 協 力 西鉄旅行株式会社
8. 期 日 2012年11月23日(金・祝) <1次ラウンド>
24日(土) <1次ラウンド・順位別トーナメント>
25日(日) <順位別トーナメント>
9. 会 場 時之栖スポーツセンター 裾野グラウンド(静岡県裾野市)

10. 参加資格

- (1) 1982年(昭和57年)12月31日以前生まれの(公財)日本サッカー協会登録選手(女性)によって構成されたチームであること。
 - (2) 上記(1)の参加資格を満たす選手に加えて、アンダーエイジ枠として、1983年(昭和58年)1月1日から1990年(平成2年)4月1日までに生まれた(公財)日本サッカー協会登録選手(女性)を参加申込することが出来る。但し、アンダーエイジ枠の選手はピッチ上に同時に2名までしかプレーできない。
 - (3) なお、当該チームは(公財)日本サッカー協会の加盟登録チームである必要はない。
 - (4) 外国籍選手:5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。
 - (5) 移籍選手:予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加申込することはできない。
- ※ チームの編成は、あくまでも人数の都合上等単独チームとして参加できない場合にのみ可能となるものであり、普及を目的とする大会であることの主旨に鑑み、極端な勝利至上主義を目的としたチームの編成は行わないこと。

11. 参加チームおよびその数：

参加チームは、次により選出された 16 チームとする。

北海道 1 チーム、東 北 1 チーム、関 東 4 チーム、北信越 1 チーム
東 海 2 チーム、関 西 3 チーム、中 国 1 チーム、四 国 1 チーム
九 州 2 チーム、

※ 各地域／各都道府県においては、可能な限りリーグ戦による予選大会を実施し、本大会への出場チームを決定する。

12. 競技方法

- (1) 1 次ラウンド：16 チームを 4 チームずつ 4 グループに分けてリーグ戦を行う。
順位別トーナメント：各グループの順位毎の 4 チームによる **ノックアウト方式**で行う。
順位を決定するためトーナメント 1 回戦の敗者同士の試合も行う。
- (2) 1 次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし順位を決定する。
勝点は、勝利 3 点、引き分け 1 点、敗戦 0 点とする。
但し、勝点合計が同じ場合は、以下の項目の順序で順位を決定する。
 - ① 全試合の得失点差（＝総得点－総失点）
 - ② 全試合の総得点数
 - ③ 当該チーム同士の対戦結果（勝敗）
 - ④ 前記項目が同一の場合は、抽選（当該チーム代表者の立ち会いによる）により決定する。
- (3) 試合時間：50 分（前・後半 25 分）
- (4) ハーフタイムのインターバル：原則として 10 分（前半終了から後半開始まで）
- (5) 試合の勝者を決定する方法（50 分で勝敗が決しない場合）
 - 1 次ラウンド：引分け
 - 順位別トーナメント（1 回戦）：P K 方式により勝者を決定する。（延長戦は実施しない）
 - 順位別トーナメント（2 回戦[1 位グループを除く]）：引分け
 - 順位別トーナメント（2 回戦[1 位グループ 1・2・3・4 位決定戦]）：**10 分（前・後半 5 分）**の延長戦を行い、なお決しない場合は P K 方式により勝者を決定する。
 - 延長戦に入る前のインターバル：3 分
 - P K 方式に入る前のインターバル：1 分

13. 競技規定 大会実施年度の(公財)日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については本大会規定を定める。

- (1) 大会参加申込した最大 30 名の選手のうち、各試合の登録選手は最大 18 名とする。
- (2) 交代できる人数は、競技開始前に登録した最大 7 名の交代要員の中から 7 名までの自由な交代を適用する。
- (3) ベンチ入りできる人数は最大 12 名（交代要員 7 名、役員 5 名）とする。
- (4) 本大会において退場を命じられた選手は次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (5) 本大会期間中、異なる試合で警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- (6) テクニカルエリア：設置する。
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ 1 人の役員が伝えることができる。但し通訳を必要とする場合は 2 人までとする。
- (7) 第 4 の審判員：任命する。
- (8) アディショナルタイムの表示：実施する。

- (9) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2名以内
- (10) 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。
- (11) 天然芝及び人工芝フィールドにて行う。なお、人工芝フィールドにて行う場合は、「FIFA サッカー芝品質コンセプト 認証フィールド」又は「JFA ロングパイル人工芝 公認ピッチ」とする。

14. 参加申込

- (1) 参加申込し得る選手数は、30名を最大とする。
- (2) **参加チーム**：参加チームは、所定の参加申込用紙（データ形式）に必要事項を入力の上、所属都道府県サッカー協会宛に、データ送信すること。
（メールアドレスは所属都道府県サッカー協会に個別に事前確認すること。）
（下記申込締切日を念頭に余裕を持って提出すること。）
- (3) **都道府県サッカー協会**：上記（データ）を受理した都道府県サッカー協会は、記入内容を確認した上で、下記申込先までデータ送信すること。
◎申込先：eメール：ladies@jfa.or.jp
◎JFA 申込締切日：データ 2012年10月23日（火） 15:00 必着
- (4) 上記(3)のデータ申込締切以降の申込内容の変更は認めない。

15. 参加料 無料とする。

16. ユニフォーム

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

但し、以下の項目については特に本大会用として規定を定める。

- (1) ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）については、正の他に副として、正と色彩（濃淡）が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。
- (2) シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) 選手番号は参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、台地（白布地等）（縦30cm×横30cm位）に背番号を付け、判りやすくする事。
- (4) ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (5) ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。尚、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- (6) ユニフォームに他のチーム（各国代表・プロクラブチーム等）のエンブレム等が付いているものは着用できない。

17. 試合球 MIKASA 軽量球5号（品番：SW500VL-P）

18. 表彰

- (1) 優勝以下第3位までに表彰状ならびにメダルを授与する。第4位に表彰状を授与する。優勝チームには優勝杯を授与し、次回までこれを保持せしめる。
- (2) 表彰式は試合終了後に試合会場にて行う。

19. 交通・宿泊

(1) 交通について

参加チームの大会参加に要する交通費に対し、本協会より補助金を支払うものとする。
下記に基づいて算出される参加全チームの交通費総額と、本協会による補助金総額の差額より算出される、1チームあたりの自己負担標準額（全チーム同額）をそれぞれ超える金額を補助する。なお、チームあたりの交通費が自己負担標準額を下回る場合、補助はされない。

① 1チームあたり選手23名分まで

② 下記の基準に基づくチームの最寄駅から競技場の最寄駅まで

➤ 1区間100km未満は在来線普通料金

➤ 1区間100km以上は特急普通指定料金

（ただし新幹線のみで200km以上は新幹線料金を含む）

(2) 交通・宿泊の斡旋は行わないので、チームの責任において手配すること。

20. 傷害補償 参加チームは必ず傷害保険に加入していること。尚、主管者（主管サッカー協会）は、試合会場での応急処置のみを行うものとする。

21. 組合せ (公財) 日本サッカー協会において抽選を行い決定する。

22. その他

- (1) 各試合の登録選手は選手証（写真貼付されたもの）を試合会場に持参すること。不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
- (2) 本大会において規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は女子大会部会長が兼任する。規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。
- (3) 各試合競技開始時間の70分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。マッチコーディネーションミーティングにおいて両チームのユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。
- (4) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (5) 大会要項に規定されていない事項については女子委員会において協議の上決定する。
- (6) 開会式・代表者会議は実施しない。

以上